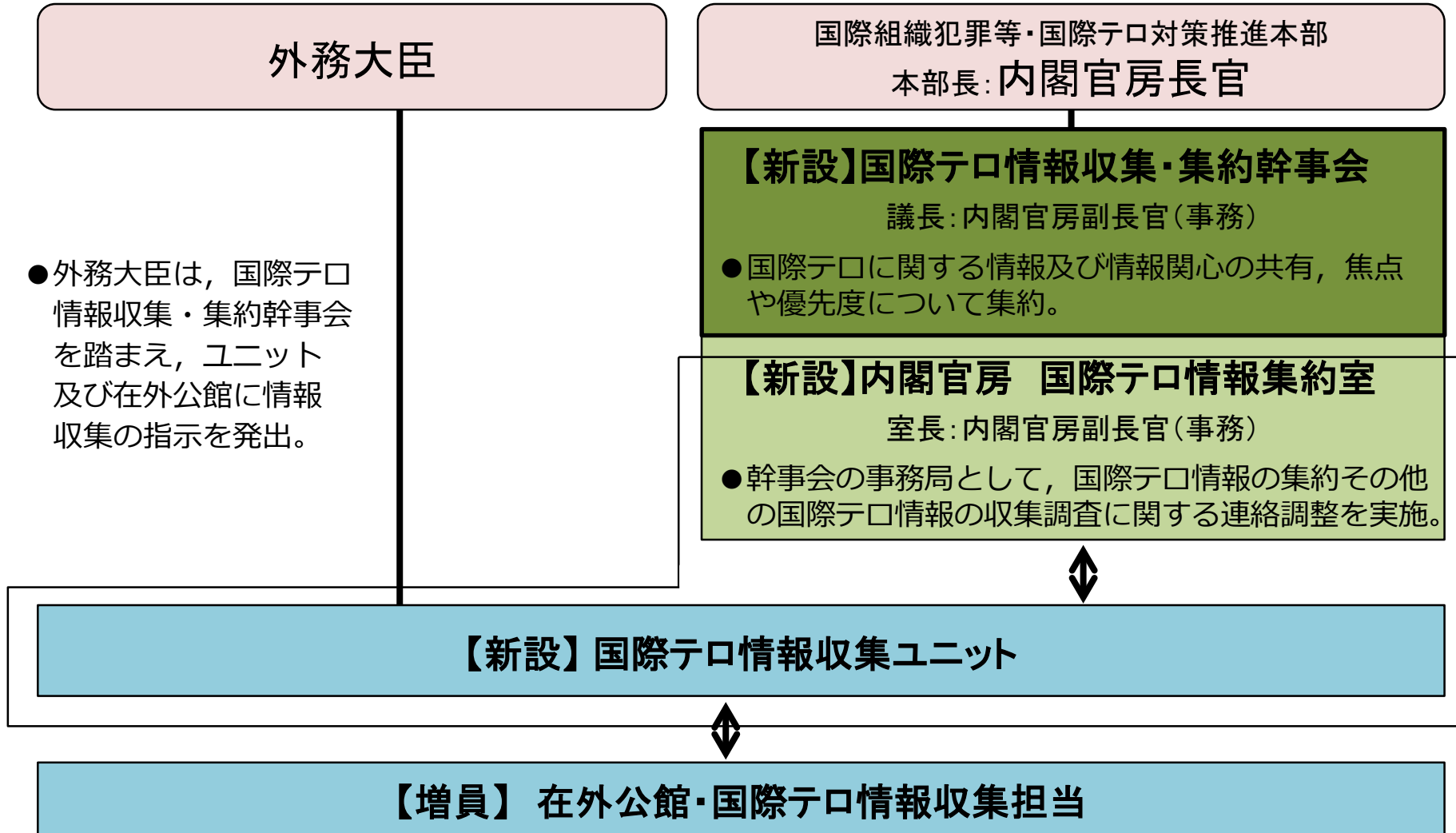


国際テロ情報収集・集約体制の強化

平成27年12月8日
内閣官房 外務省

新体制の概要

- 邦人関連事案に関する国際テロ情報の収集等を抜本的に強化するため、①国際組織犯罪等・国際テロ対策推進本部に「国際テロ情報収集・集約幹事会」、②内閣官房に「国際テロ情報集約室」、③外務省（総合外交政策局）に「国際テロ情報収集ユニット」を置く。



- 国際テロ情報収集ユニットに配置される4名の幹部級職員等が東南アジア, 南アジア, 中東, 北・西アフリカの4地域を分担。
- 国際テロ情報収集ユニット員は、すべて国際テロ情報集約室員としての身分も保有。
- 4地域の拠点となる在外公館にも国際テロ情勢, 現地事情や語学に精通する適任者を省庁横断的に増員配置。

【新設】国際テロ情報収集・集約幹事会

議長 内閣官房副長官(事務)

内閣情報官

内閣官房／国際テロ情報集約室次長

警察庁／警備局長

公安調査庁／次長

外務省／国際テロ情報収集ユニット地域総括

外務省／国際情報統括官

防衛省／防衛政策局長・情報本部長

内閣官房副長官補(外政・事態)

国家安全保障局長

内閣危機管理監

外務省／総政局長・領事局長

防衛省／統合幕僚監部総括官

- 構成員は、インテリジェンス5省庁に加え、政策部門・事態対処部門(国家安全保障局長，内閣危機管理監等)。
- ユニットの活動状況について報告を受ける。
- 必要に応じ，外務省地域局，海上保安庁等の関係省庁の出席を求める。
- 上記メンバーによる会議のほか，情報関係者による会議も機動的に開催。

(参考) 邦人が犠牲となった国際テロ事案等

2013年1月

在アルジェリア邦人に対するテロ事件。邦人10名が死亡。
AQIM（イスラム・マグリブ諸国のアルカイダ）関連組織が犯行声明。

2014年8月～2015年2月

シリアにおける邦人殺害テロ事件。邦人2名が死亡。ISILが犯行声明。

邦人殺害テロ事件の対応に関する検証委員会検証報告書(平成27年5月21日)

「中東地域においては、**有力な部族長や宗教指導者等**の有する影響力、人的ネットワークは非常に重要であるところ、平素からこれら人物との関係構築に努めることが肝要であり、そのための必要な体制の構築（アラビア語職員の増強、適切な配置等）を検討すべきものと考えられる。」

「収集した情報を的確に分析して事案対応や政策に活用し、また、海外の治安・情報機関とのさらに緊密な関係を構築するためにも、**言語・宗教・現地情勢等に精通した専門家の育成・活用**をはじめ、情報の収集・集約・分析能力の一層の強化に取り組む必要がある。」

2015年3月

チュニジアにおける銃撃テロ事件。邦人3名が死亡、3名が負傷。**AQIM**関連組織、ISILが声明。

国際組織犯罪等・国際テロ対策推進本部決定(平成27年5月29日)

「イスラム過激派組織の動向等の国際テロ情勢に関する情報収集を含む国際テロ対策を強化するため、外務省内に「**国際テロ情報収集ユニット**」を新設して、幹部級職員を配置する。同幹部級職員は、内閣官房併任とする。また、拠点となる在外公館においては、国際テロ情勢、現地事情や語学に精通する適任者を配置する。」

「また、官邸や情報コミュニティの情報関心を踏まえた情報収集が現地で行われるようにするため、①官邸幹部、外務省や内閣情報調査室を含む関係省庁との間で**定期的に各々の情報及び情報関心を共有し、焦点や優先度について集約**する仕組みを構築し、②これを踏まえ、外務大臣から「国際テロ情報収集ユニット」及び各在外公館に向け情報収集の指示が発出され、③収集された情報が前述の関係省庁等に速やかに共有されることを確保する。」

2015年8月

タイ・バンコクにおける爆発事件。邦人1名が負傷。

2015年10月

バングラデシュ・ロングプール、邦人1名が射殺。「イスラム国バングラデシュ」と称する組織名が犯行声明。

